



—コンタクトレンズ装用試験について—



高度管理医療機器である、コンタクトレンズに関する試験のご案内です。コンタクトレンズを装用したまま点眼する目薬の開発、コンタクトレンズやケア用品の開発に必要な“コンタクトレンズ装用試験”についてご紹介いたします。

1)コンタクトレンズおよびコンタクトレンズ消毒剤の試験

試験概要：ウサギの眼にレンズを装着します。

新規コンタクトレンズは、既承認の消毒剤を用いて臨床に合わせた試験期間、消毒方法で肉眼、病理組織学的な検査を実施します。

新規消毒剤の場合は、既承認のコンタクトレンズのグループ I ~ IV₁)の中からそれぞれ1種を選択し、新規コンタクトレンズ同様、臨床に合わせた試験期間、消毒方法で肉眼、病理組織学的な検査を実施します。

通常、装用期間は21日間で実施します。(ISO09394)



2)コンタクトレンズ装用時の点眼薬の試験

試験概要：点眼薬の成分が吸着し易い性質を持ったコンタクトレンズをグループ I ~ IV₁)の中から選択し、使用状況にあわせ点眼を8~10回/day、14~21日間連続投与し、肉眼、病理組織学的な検査を実施します。

- 1):グループ I...含水率が50%未満で非イオン性であるもの
- グループ II...含水率が50%以上で非イオン性であるもの
- グループ III...含水率が50%未満でイオン性であるもの
- グループ IV...含水率が50%以上でイオン性であるもの



ここが瞬膜

瞬膜切除前

瞬膜切除後

『心の絆 - その441 -』

佐部利 典彦のアートギャラリー(41)

岐阜県出身(1969~)

タイトル : life

作者の言葉

雨の日に娘とみずたまりでパシャパシャ遊びながら、水面に映るいろいろな自然からイメージして描きました。



日本は山、川、海など、世界でも自然に恵まれた国の一つです。ただ残念に思うことはその自然の恵みに感謝して、その美しい景観を守ろうとする気持ちが希薄なことです。水田や道路には電柱が無造作に立てられ、和風や洋風の家が混在し、またその家の方向もまちまちに建てられ、都市や町並みには自社や自分の店さえ目立てば良いと言った様々な形と色の看板が並ぶなど、自分の故郷や町を住民全体で、さらに言うとな国全体で自国を美しくしようとする意識が育っていません。その点、スイス、ドイツ、英国などのヨーロッパでは、電柱は地下に埋められ、家並みは揃い、お店の看板などは小さく、気をつけていないと目的のお店を通り過ぎそうになります。屋根や外壁の色まで統一して地域全体の調和を図っている小都市も多々あります。さらには個々の家の窓際には花が外向きに飾られ、往来する人の心を癒そうとする心遣いがありますし、洗濯物を人の目に触れさせられることもありません。日本との歴史、文化、価値観の違いだけでは説明できない美意識が成熟しています。美しい景観を誇れる日本を目指したいものです。